

2016年9月29日

東急不動産株式会社

当社子会社の資産運用会社3社の組織再編に関するお知らせ

～事業特化による資産運用体制の高度化～

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:植村 仁)は、当社の完全子会社である以下記載の資産運用会社3社の組織再編を2017年4月1日(予定)に実施し、REIT事業を行う運用会社と私募ファンド事業を行う運用会社の2社による運用体制といたしますので、お知らせいたします。

■ 資産運用会社3社の概要

商号	東急不動産アクティビア投信 株式会社(TAIM)	東急不動産コンフォリア投信 株式会社(TCI)	東急不動産キャピタル・ マネジメント株式会社(TLCM)
設立	2010年11月15日	2009年10月6日	2007年2月15日
所在地	東京都港区	東京都港区	東京都港区
資本金 (出資者)	300百万円 (東急不動産株式会社(100%))	200百万円 (東急不動産株式会社(100%))	300百万円 (東急不動産株式会社(100%))
主な事業	アクティビア・プロパティーズ投資 法人(API)の資産運用に関する 事業	コンフォリア・レジデンシャル投資 法人(CRR)の資産運用に関す る事業	(1)ブローディア・プライベート投 資法人(BPR)の資産運用 に関する事業 (2)私募ファンドの資産運用に関 する事業

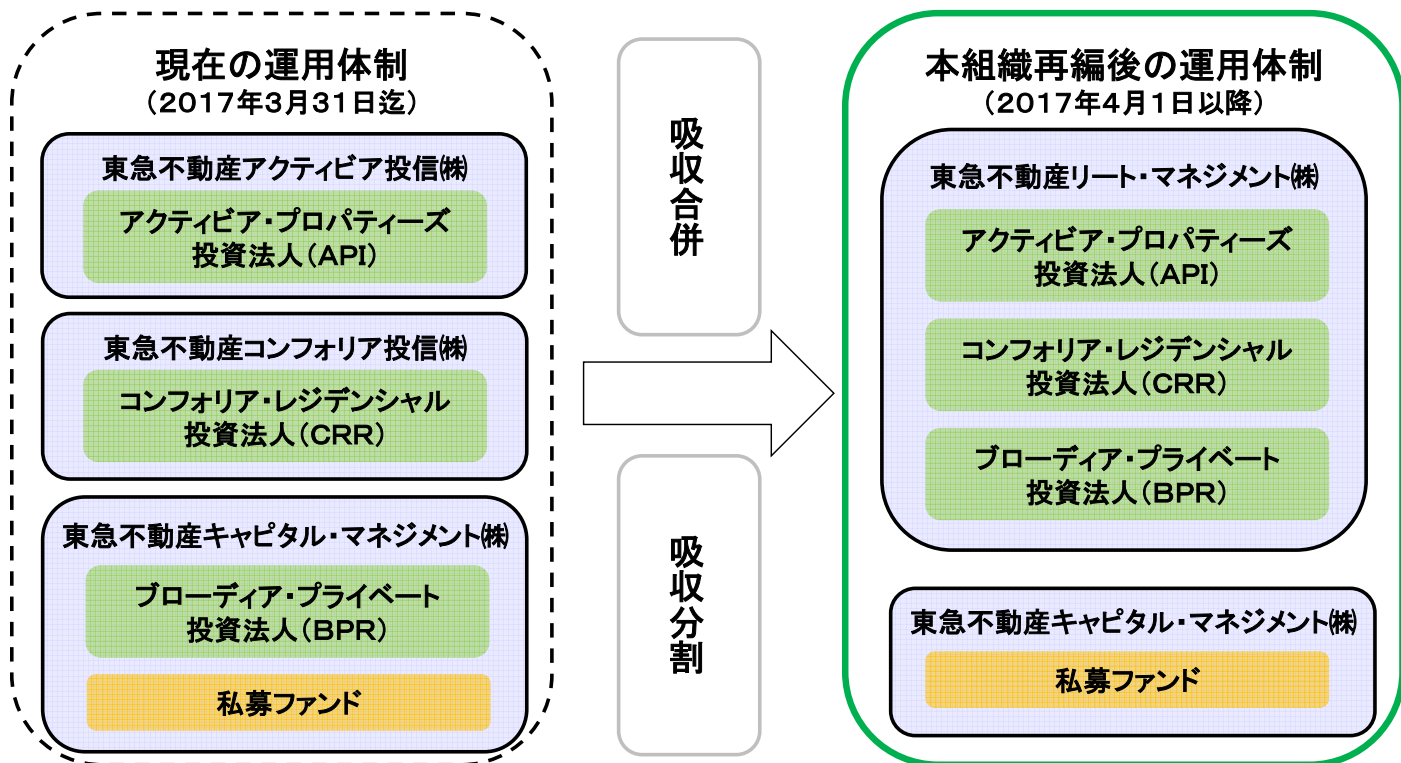
■ 本組織再編の背景・目的

REIT市場に関しては、J-REIT市場が2001年9月の運用開始から15年が経過し、現在までに56投資法人、約15兆円の資産規模に、また私募REIT市場が2010年12月の運用開始から5年が経過し、2016年6月末時点で17投資法人、1.7兆円を超える資産規模にまで拡大しています。また、私募ファンド市場に関しては、REITとは異なる商品特性から、投資家ニーズは継続して存在しています。

当社グループの投資マネジメント事業においては、TAIMが上場REITのAPIから、TCIが上場REITのCRRから、TLCMが私募REITのBPR、および私募ファンドからそれぞれ資産運用を受託しており、資産運用会社3社はそれぞれが運用のノウハウ、経験を蓄積し、これまで着実に成長をしてまいりました。

このような中で、今般、REITの資産運用事業の集約化を通じた資産運用会社のアセット・マネジメント力の強化による各REITの投資主価値の向上、および私募ファンド事業への特化を通じた多様な投資家ニーズへの対応力の強化による投資家利益の向上を目的に、資産運用会社3社の組織再編を実施いたします。

■ 本組織再編の概要



(1) REIT事業の集約

①TCIとTAIMの吸収合併

TCIを存続会社とし、TAIMを消滅会社とする吸収合併を実施します。

②TLCMの吸収分割によるTCIへの一部事業の承継

TLCMを吸収分割会社とし、TCIを吸収承継会社とする吸収分割を実施します。分割の対象となる事業は、BPRの資産運用に関する事業、および人事労務に関する業務であり、その他の事業については引続きTLCMが行います。

※上記①・②を実施後、存続会社であるTCIの商号を「東急不動産リート・マネジメント株式会社」に変更する予定です。

(2) 私募ファンド事業への特化

上記の通り、私募ファンドの資産運用に関する事業等については、従来通りTLCMが行います。REITとは異なる投資ニーズに応えるため、従来の投資商品に加え、新商品の開発等を通じて、多様な投資機会の提供を行います。

■ 東急不動産ホールディングスグループによるサポート体制

本組織再編後も、従来通り、東急不動産ホールディングスグループによる包括的なサポートを提供します。

■ 主なスケジュール

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 2016年9月29日 | 吸収合併契約、および吸収分割契約の締結 |
| 2017年4月1日(予定) | 吸収合併契約、および吸収分割契約の効力発生 |

■ その他

本組織再編は資産運用会社3社に係るものであり、資産運用会社が資産運用を受託する各投資法人に係るものではありません。